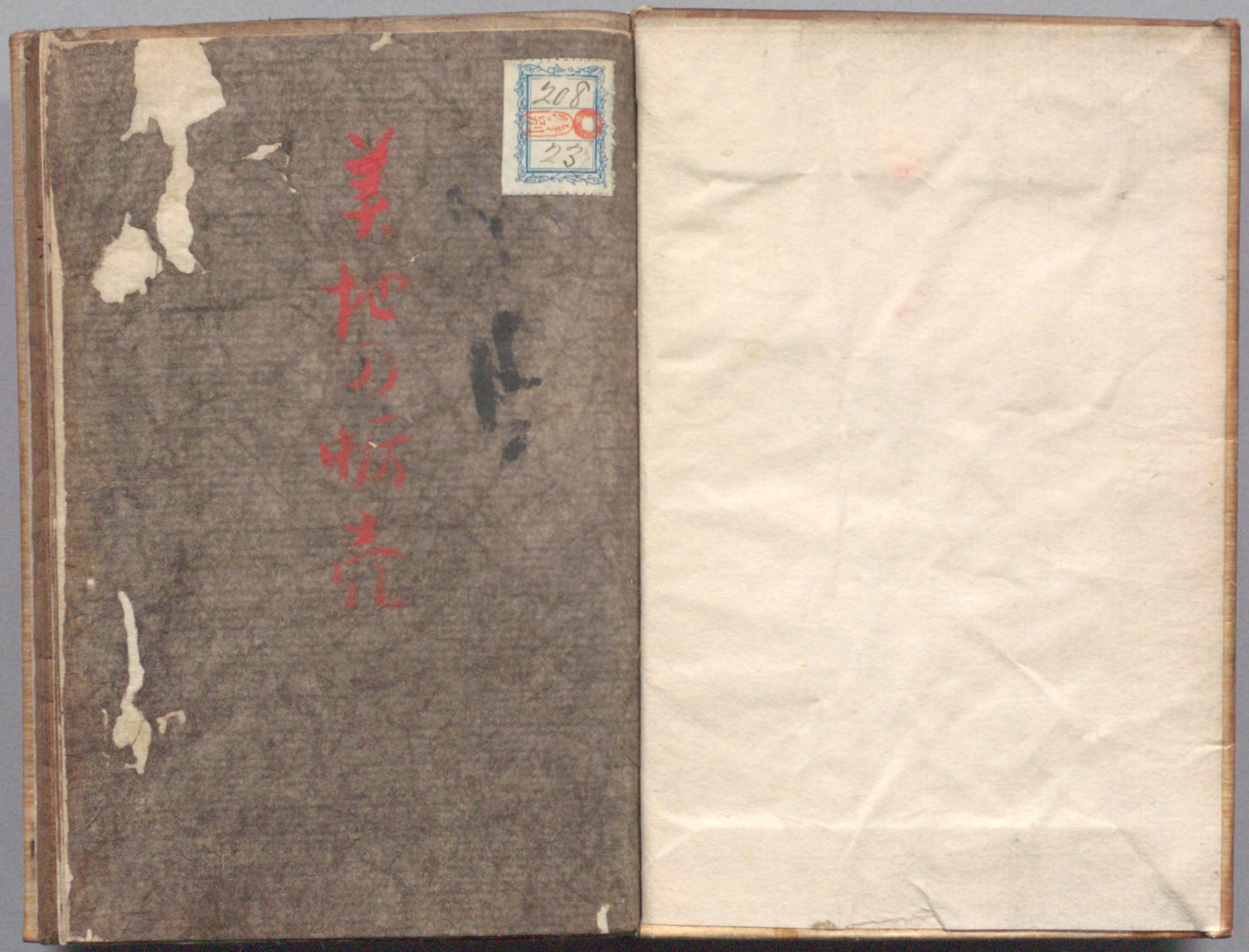
美地之蛎殼

全

208
23

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用



国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

美地の蛎売

序

深川の極び者絶ずして。志らぬ色恋。
永代の渡西の方き建杉子赤い。店者の笑をふめ。
八幡乃ちやくハ子息楫の胸ふあ出さ。
抑海ぬ底ゑ与ふ。色容ふ通ず。
謝ふ富ヶ岡岩盤深き象諸を知ばしる。
永代寺の門前ふ額ゑ乗しらん屋己ゑ月ゑ

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

東方朔通小説に、年と。かん光を生ぜしむ。ぐどひく。
見徳の枕に。五十番詩歌付と彩色も極金を
えんを示す。其顔色は小さく見えぎ。温石
なんど。大病の心地にもてあつかふ。文元国に学ぶ。
あらぬ事ども。奢る河内の四郎宋に。出家道に
きしに。白奥も中落を嫌ひ。是通に
氣弱ければ。鯨も脅越といへど。古れど中富が
道城に。大人国の学紀と申し。中なる日本

鉄鍋に。小人寄来。小人寄来と。
ちなる買色の道なり。千金死事は
なり。孟城のんつく。五色の玉子とうけよと安く。
らくなる家金よと。博ふに。慢ちんの葬城。
車前得も。生さ紙ど流小冊を見て居は。
やもれもせず。時も絶もせず。志ゆまつく
論く。変地くかる
題家法而已

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

安永八乙
[illegible]
恵方小向
蓬葉山人
帰橋述

美地乃蛎売

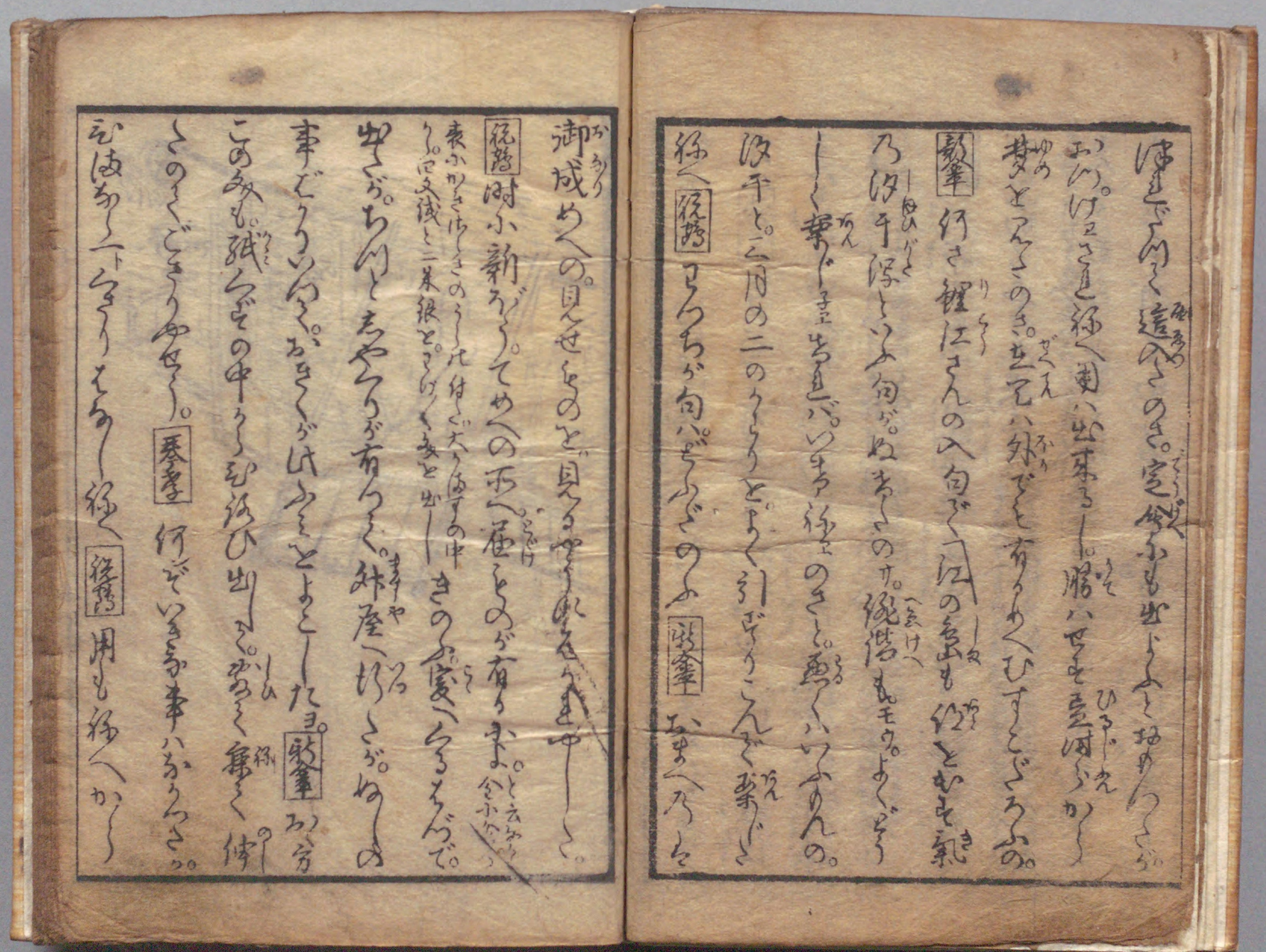
武蔵の国の吉原に下総小有る深川の間かく
西国猪の[illegible]天馬[illegible]宗通有り右八紅者乃
行燈十[illegible]のかぶ[illegible]ふ[illegible]蓋左八楊乃藝婦
[illegible]蛤のごく軒とつ[illegible]孫そのまん中に[illegible]
玄関に[illegible]兼上座八諸[illegible]とう[illegible]の
孫とはもの。燭身[illegible]世[illegible]渡る。牛身く[illegible]
門にかく 新傘 [illegible]の羽八よのそ[illegible]

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用



[illegible]

おいけさま御稽古のさま。定めし[illegible]

[illegible]

夢とうつつのさ。[illegible]ハ外でとかうわくひすてごろふの。

[illegible]筆 何さ鯉江さんの八角ぐ[illegible]江の[illegible]とむを氣

乃汐干深しゝ角ぐ。ぬ[illegible]

[illegible]

汐干と。二月の二のうつりと。[illegible]

稽古 [illegible]ちが角ぱぐふぐのゝ

[illegible]筆 [illegible]

御成めくの。見せものと。見るやうにまつ[illegible]

[illegible]時ふ新ろ。てめくの西へ。屋ものが有るよ。[illegible]

表ふかさ[illegible]きのうち[illegible]付ぐ[illegible]

り。白文錢と二朱銀と。[illegible]きの[illegible]実へ[illegible]

出くぶ。ちりと[illegible]ちが有ふく。外屋へ[illegible]ぬの

事ごろいふく。[illegible]ふ[illegible]とよ[illegible]

この[illegible]紙ぐ[illegible]の中ろ[illegible]

[illegible]筆 何ぞいふ事ハかろふ。

[illegible]

[illegible]筆 用も稽へか[illegible]

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

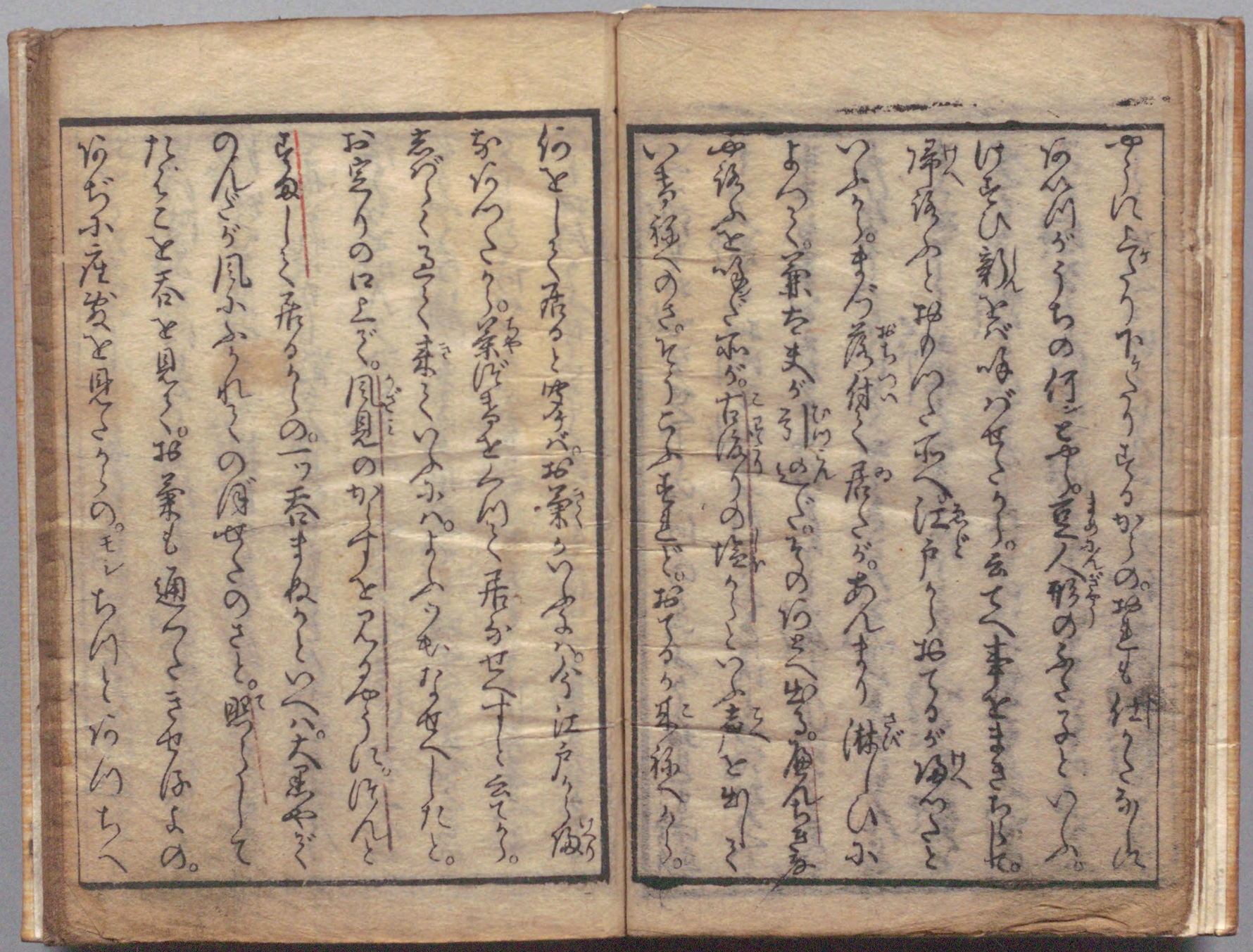
ガラス使用

九十文文迄百といふいき酒てと吸きゝ。
出し。張のおゝ
ぞうご吸つまる所　まゝ変酒。見通しへ上ゝ不ら豆豆
の器ゆゝと見へゝ。火も紙ひ火鉢とゝきゝ。
見ゝよるゝとゝ。裾とゆゝのさ。そもぐどう
ごゝひゝ百へ。おゝ久ゝ年ゝいふやゝ。ゆのまいごゝう
やせんといふゝ。ゆゝもゝゝ。ちらゝかゝて
こひゝゝゝ。江戸へいきあせいゝゝゝ。
よゝ世移ゝのゝ。そんなゝ義者と貴ゝて帰らゝて

いへば濁ゝ。おゝなせへゝの。ゆゝのといふゝ。地ゝも中動
きゝゝ悪ゝ。地附ゝ吸ふゝ。ゆゝゝゝ。おゝゝも
まきゝゝ事ゝゝゝ。ゆゝゝゝ。ゆゝゝゝ。ゆゝゝゝ。
よびゝゝ。どゝゝゝ。ゆゝゝゝ。ゆゝゝゝ。
まゝゝゝゝゝ。出揚ゝゝ。ゝゝゝゝ。ゆゝゝゝ。
雪ゝゝゝ。ゆゝゝゝ。ゆゝゝゝ。ゆゝゝゝ。
ゝも客ゝゝ。ゝ歯ゝ。ゆゝゝゝ。ゆゝゝゝ。
ゝゝゝ。ゆゝゝゝ。大神楽の曲翁ゝゝ。

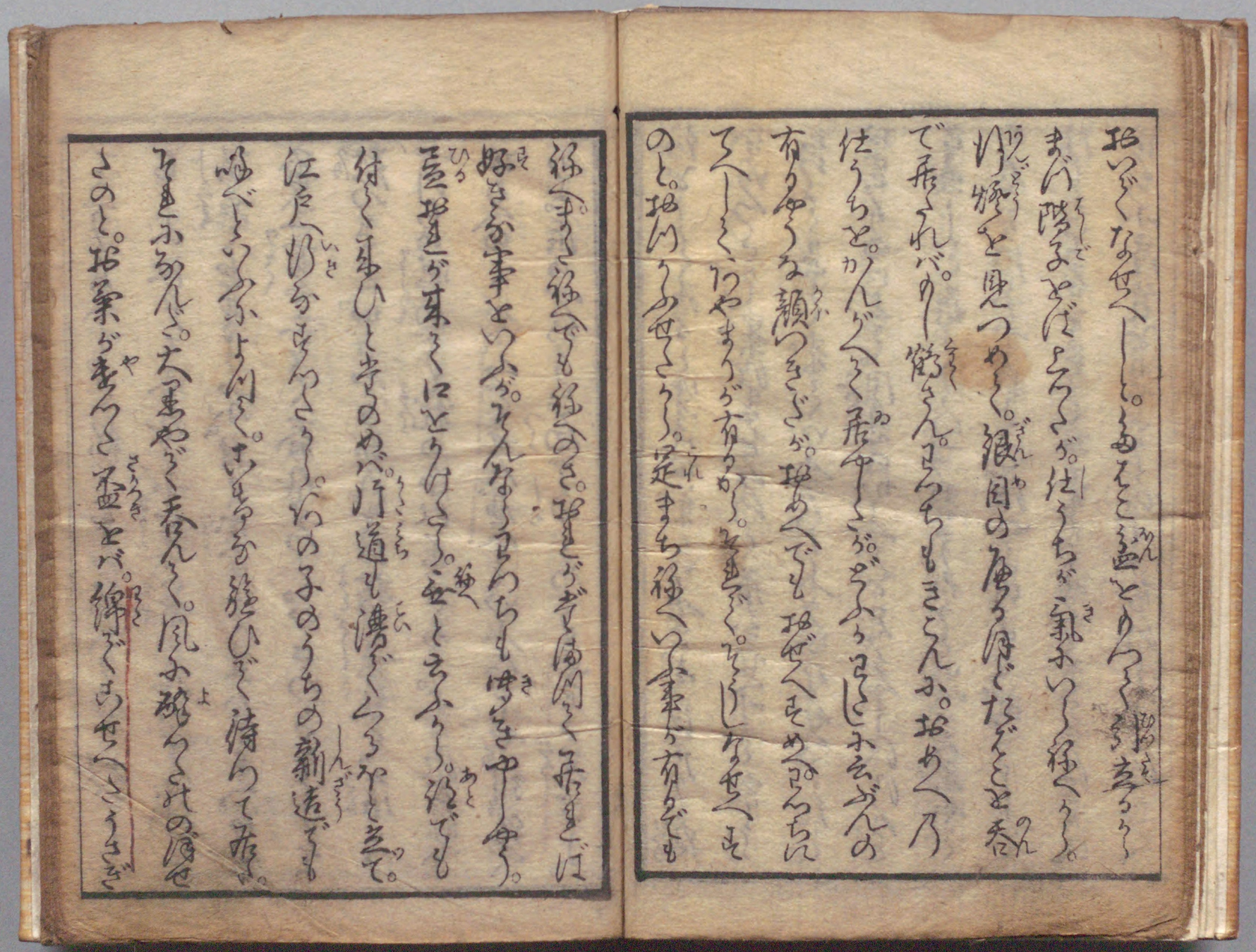
国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用



国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用



拍つぐなを五へ。しこ。ゐてこと盃とりつく弾き
まい踊よりたらこが。仕うちが氣ふいく稼くう。
物を見つめく。浪花の角ぐたごと呑
で居れば。ゆ。鶴さん。こうちもきこんか。おあく乃
仕うちと。かんぐく居やこが。ぐふうとしふぶんの
有りやうな顔つきぐが。拍へでも拍をめこうちに
てへく。ちやまうぐ有りが。ちぐ。たしなを
のと。拍へうを五こう。延まち稼いふ事が有るでも

稼へまこと稼へでも稼へのと。拍とぐ角へ居まとば
好きな事といふぐ。てんなこうちも浮きを中。
蓋拍とぐ来くにとうけく。稼でも
付く五ひと寄のめば行道も溝ぐくうをと立て。
江戸へ出かきんこう。わのこのうちの新造でも
嘆べこうふよりく。さいまうを強ひぐく待つて居。
てもふるんく。大つ馬やぐく春んく。風が強くそれの浪也
さのと。拍菓ぐ来つく盃とば。綿ぐきいを入きぐ

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

でハ有るめへ。て孫る事ハ孫へのんぐ。大てそ
らしい江戸て呑んぐ小ぜが茶ろんの中の汁と
磯石で点をよるふ。付く変まぐ来ハしめんぐ
盃ふ一百や二百く呑んぐろく。いきつきそうな
顔つきうへかぐやうるんぐその損産ぐく。店乃
門らの根面でも枕の下に盃さろくよりしに孫へた。
地めへのよふふ。ぐそせんぐ屋ふといんぐやっぱり孫へ
ふよ。店の中孫へハ面ぐ白くんつてもやるて墨ぐよ。

大げへ胡せんも屋まのでも。波海を仕まんさ如く
流ぐ。せんを引くく大かさハ屋門くれるぐ屋ふ
のんぐ。中ふハ引けるも変ろうぐの。まぐ抜まつるの
眼ふち付く。顔ふまきの付う孫へのぐ。ろくいふ
門ハ見垂せんの梁ふ乗ふ孫へ有。乃ふ
なく孫へより孫へなく。上けく立ろく。地四も悪く
るくふるそくぐ。なまつるく居ぐ。ほ右の古るぐ出く
そそで。地ふせへて雨を変やくぐ。初ろ屋く地めへの

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

ゆぶくいやちうりふてもいく樽ふ酒りと
付さの頭ぐ。堺さんでもどのみでも。茶やとと
ゆりも高やちいかんりうも乗ふ俗へせう。さんも
酒を呑まぬのハ。飛事と一とりいとりと思って
りく高さのさと。十九文見世の云云とそうやん。好か
せうなといふうの。地ももあ切あまつて幕さ。

琴孝

ひまとうう方ハどう行さの 絵解 のうう今日切と
地のりうの。コレうりふ事なり。江戸うう酒って雪ふ

来さうなのんぶ。茶づまりとふのと茶が毎とふのと
ぶしして茶ぐまぐ大こくやる町内ぐ。ちちをきく
やうもと。酒ぐうう出を。氣のきうだかと。沿と
ぶしくいくぬふ有の世活まくゆひさのさ

琴孝

よりいぶとうもしれにぶくふうく。深川ハ上ふふ城さぐ。
まぶくうんな事でハ。食へ絵へよりとまぐ通の
よりのさが。紙ぶなのだひ。ひよふふ。せんぐうんなふ
よりさうつく。ふ有の世活まぐふる事ハ絵へ。それ絵

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

文てら〳〵へが土橋でその初動定か。行宗の如し〳〵が
いん書さの。行屋の拾く。着りの一ととんさの。
ゆりひの師道爺より。とへ。新さ。逆もうねが伏
前うふる。通の事でハ実つ〳〵が。父男のうねがとハ。
ハ氣ふハさら〳〵ふが。ハ発ど。桟橋の霜と完ちんと
ふあハ。悪〳〵ゆまの黒吉ハ公のうく。[脱落]琴公の
いふのハ。一ぐ〳〵ふあうが。そのようふもいうもんのさ。
かんだんがつ〳〵。ウ新公[欠筆]あるのハ拾論も

きハいふ〳〵ハ。ゆ〳〵ゆまが。ひうわどせさの面ら悪ハと。
かう〳〵ゆが〳〵て拾ひうハハ。ふ〳〵ふ。ゆ〳〵ゆふ。ゆ〳〵ゆふ。
ひさのうきうく[脱落]ゆ〳〵ゆ。ゆ〳〵ゆ。たハ見通〳〵さ。
ゆ〳〵ゆ。ゆ〳〵ゆ。ゆ〳〵ゆ。ゆ〳〵ゆ。ゆ〳〵ゆ。ゆ〳〵ゆ

合〻書のんどくよとこさぬのまかどねーふかまて居る
りのと。宮ちかと賞つく。ほれバいく〻と 勅筆 そこいの事
なく〻今〻けく見わせる。ぬあくも亦なをくる。
経験 ぬもちつく高も有るう。ぬくもとんどや
経のさ 勅筆 何の為わうぬ照さんと賞なが。さの
ゑうーやふ天宗も 付答ぶ 経へる 天子 私も
けてへ。今夜ハ即点とえうふ事ちがざかう。
けふふひ 経験 留主ぶとこいへバいなを大名ハ郎人う

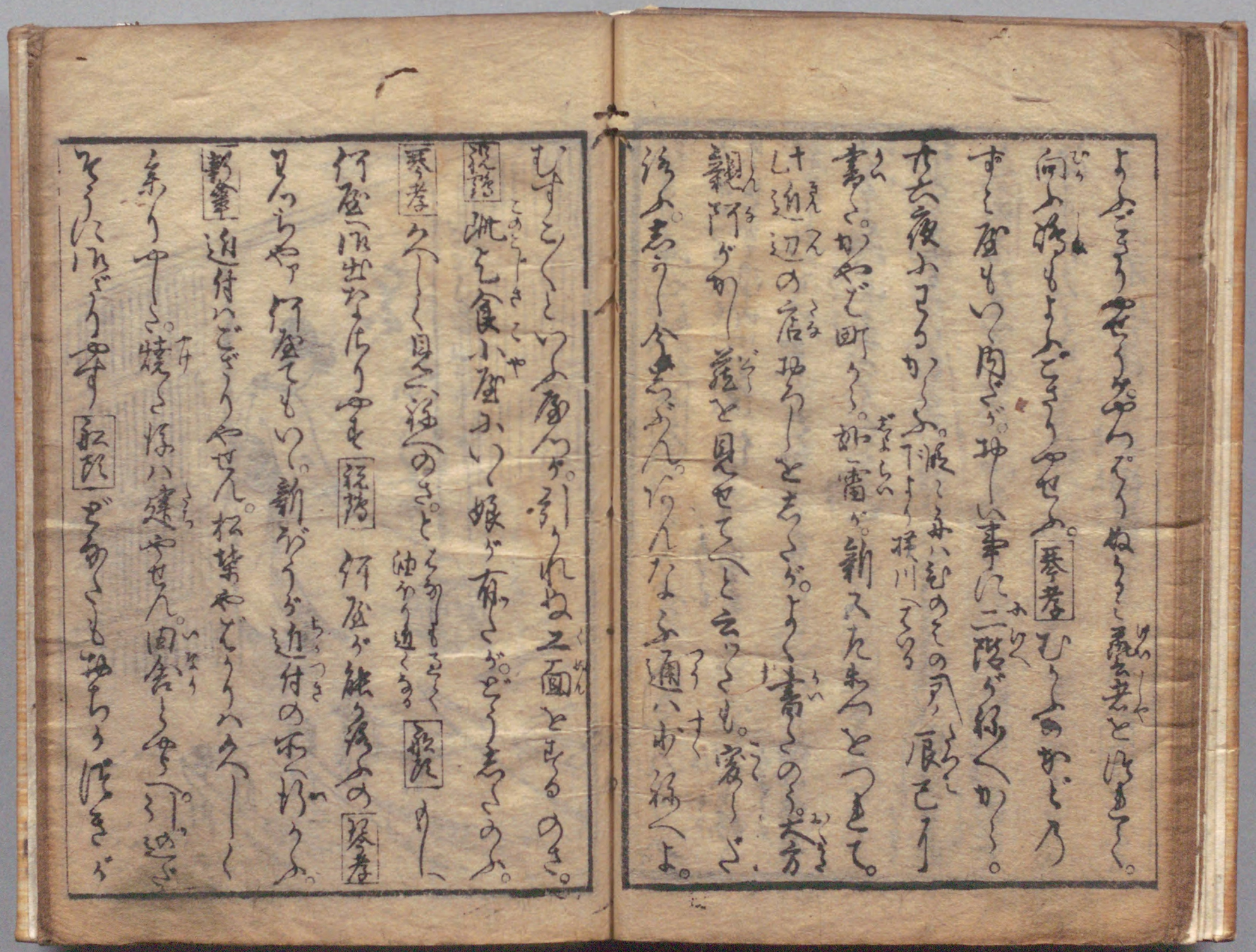
天馬 何家中さ 経験 屋しきぶ〻残ものあるく。
今夜ぶあんぬ。弐百弐十ぶ行ぶ 経へる
行ぶだろくの 寒生 ぬちハ行ぬんぶぞ。勅筆ねの
ちぶ行ぶけしよふなりんぶぞとよくハかしこ
ぬひどぶ行ふ。表よくねちとぬと
賞こかくえよふぶ経へる。新ぶくく天宗かる。
なんぶも亦切こいふぶと賞いるぬぶ行ふ。
経験 是ハなるかと行りこ
ろく〻ふ。こんるもとをり

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用



ようこそうせつやつぐ〜ねうこ義とはまて〜。
向ふ横もよんごそうやせん。琴者むこのかど乃
ずこ屋もつ問ぐ。坤しい事に二階ぐ移くか〜。
かこ夜ふこるかふ。服こふ八むのこの戸ふ辰こ
書こ。かやご断こ。加雷が。新入たふとつもて。
十組辺の店地こと書こ。よこ書この大方
親門ぐ。義を見せて云こも。家こ
行こ。こうこ今こぶん。けんなふ通ハ移へよ。

むすこ。こいつ。面つが。引うれぬ之面とるのき。
浅草 此こ食小屋ふ。こ蛾ぐ有こ。どこ。
琴者 ふ〜〜見こ。注〜のこ。油かう通くる。
行屋に出なたうやを。行屋が能ふの。琴者
ふうちや。行屋もつ。新ぐうぐ近付の不移へ。
軒傘 近付いごぐうやせん。松葉やどうハ久〜〜
糸りやこ。焼こ。ハ建やせん。田舎こ。
こうにれぐうやす。取扱 ぐ。こも。ぐうこ。

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

ゐくらの上田屋ぐらふとこさうの巻。といよりくそくそくんきまり
みはらくやぐらの系くつく
洲ゞ絵へうくもう出へハ系くゐ巻せんねりゐ巻。
ごちらの毋と。りゐへくハ出なこさう巻。ゆくく。
いよく上田屋ぐどこさうの巻す絵。地蔵くゐ志きんて
系くゐ巻。笑へいつまき上田屋ぐ
ぐりとゐくくそいる ぎん 地蔵ぐよ。お光どん つま
見通へ地蔵中絵へ笑へいちごとゐりゐ。見通へハ
かはなこゐ盃とゐハ。灯と有ゐく つま絵
ちゐくで地名ざしでもこざうの巻とう。 役場 なのふさ。
ぐまでもいくくゐ巻。ゆくとゐくくんく絵。新公ち

名ざしハ絵へ巻恵ゐ。こさうく巻へ天家と
ぐまで有ゐくゐ。 影金 せんゐ。堀留ぐ見こおゐかと
ゆくを巻くくんく絵へ地ゐ巻へハ巻ゐくなこさう巻。 天馬
ゐくくしハ雅ても。能ゐこさう巻。 役場 なんのこゐ。
宗通のゆくでも絵へ出り絵。深ゐふ名さして出へ絵
地ゐも。名ざしハ有ゐちまど。伏ぐ有ゐゐ。見徳
なくしゐ。ゐ出ものさ。 天馬 ちんなくおつまくゐ成。
ゆくくゐん絵へ。 つま ゆくく見ゆくよ。有ゐゐくくんな

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

琴孝 地しゃ長屋い家ゝ。新びゝ。ものも隣さ乃。

新筆 さゆゝ。根から。じゃ。地ゝ。浅安ゝ。

脱路 新公ハ

向ゝの。遠ゝゝ。地ひて。

新筆 そもゝなぜゝ。

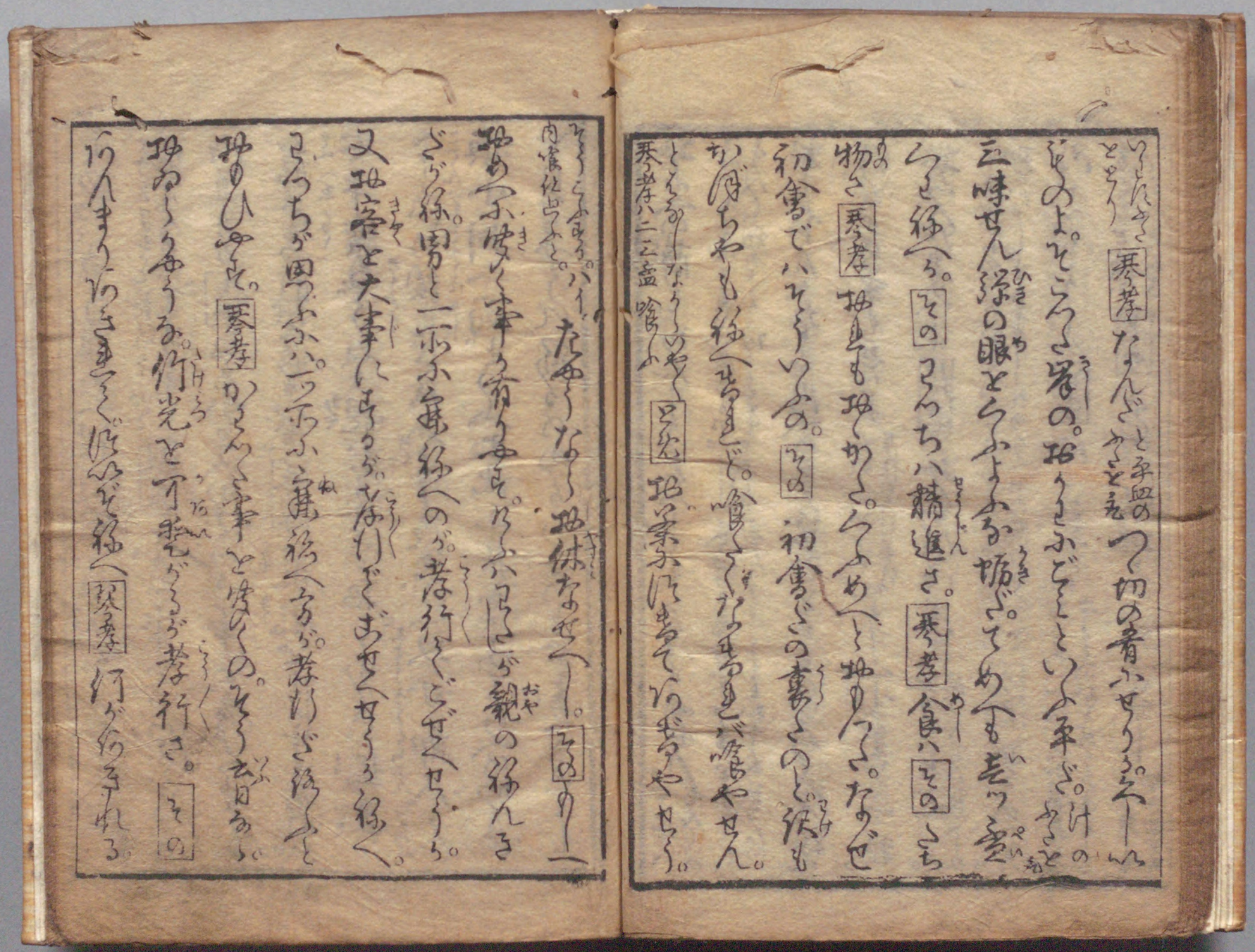
紙路 ゝゝさ

茶ゝんの。唐ゝさとゝゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。

家ゝ。ゝ。ぬゝ。

天宗 天馬 ゆゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。

地ゝの隣も。ゝんまり。ちゝ。ゝ。ゝ。ゝ。

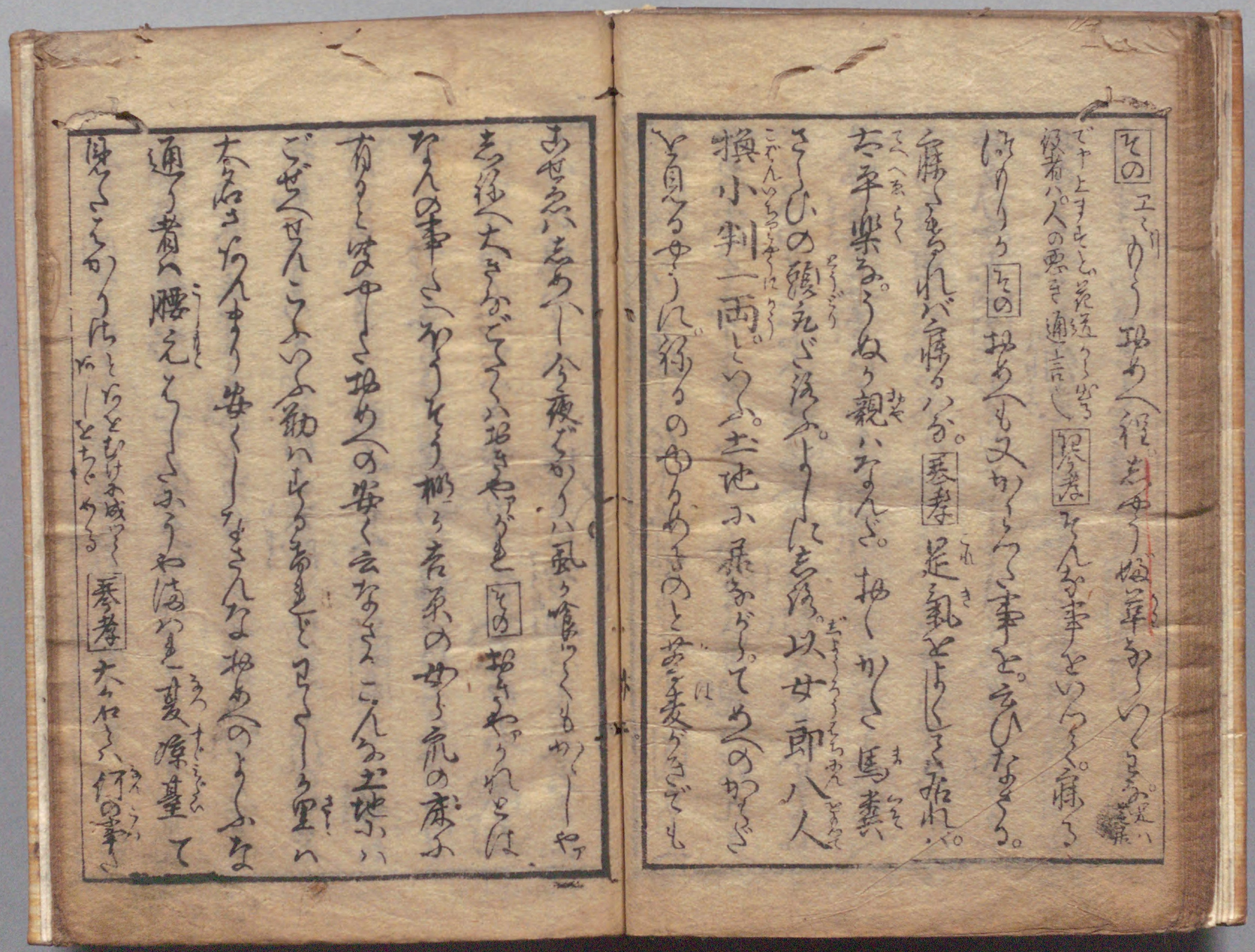


琴孝 なんぢと手母の
ものよそろさ器の。地ゑうとふどことしく手ぞ。けの
云味せん緑の眼とらふよふる蛎ぞめも走ッ蛋
らと紙へら。その さらちハ鯖進さ。琴孝 食ハ その さち
物さ 琴孝 地ものも地かさ。らめめ地りさ。なぜ
初書でハそそいな。その 初書ぞの書さのと狭も
ちぞちやも紙へ出まど。喰くたるまバ喰やせん。
琴孝ハ二云盗喰ふ 琴孝 地柔ふたもそなぞるやせら。

そそふまるハイ。内宴仕出ふと。 たゆ なる 地体なせ。 その り
地ふ安く事うあうあそ。らハ母と親の紙んさ
ぞぞ紙。男と一ふ毒紙へのが孝行ぞせ。
又地密を大事にまるぞ。なりぞおせ。せうう紙く。
らうちぞ四ふふ。ッふふ蕪紙へ方ぞ。孝行ぞ紙ふと
地ひふそ。 琴孝 かうふ事と貧くのそ。云日ふら。
地ふうるう。竹光を可ぢぞるぞ孝行さ。 その
ハくまるハさまくぞ紙へ 琴孝 行ぞのそれる。

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用



その　工くりゝ　ゆう　地あ〳〵　程　ちゝ　ゆう　地　草　ゆ　いくらぶ　蓋

でゝ上すもと　見遠　ゆう　ゆう
級者八人の悪き通言

孝者　なんの事をいふく。寝る。

ゆりゝう　その　地あ〳〵も又かゝらて事を。云ひなる。

寝ゝもられば寝るハ分。　琴孝　是氣とよしてゝ拓れば。

こゝへ云ゝ　古平楽ゆう　ぬう親ハなんぐ。地くかゝと馬糞

さゝひの強元ぐ法ゆ。ようゝ古段。以女郎八人

こがんいちゝもゝに　換小判一両しゝ。土地ゆ暴ゆ。てゝ人のかゝぐ

見るゆうに移るのゆ　ゆうあきのと苗ゆ麦ゆきでも

あ世ゆハ古ゆ〳〵今夜ぐゆハ風ゆ食ゆくゆもゆくゆ　やゆ

ゆ程〳〵大きゆぐゆくハ地きゆゆ　その　地きゆゆれゆハ

なんの事ゆ云ゆゆう柳ゆ古系の如ゆ流の底ゆ

有ゆゆ世ゆ地あ〳〵の安く云なゆゆ　こんゆ土地ゆハ

ぐゆ世ゆこゆゆ勧いゆゆ　ゆ里ハ

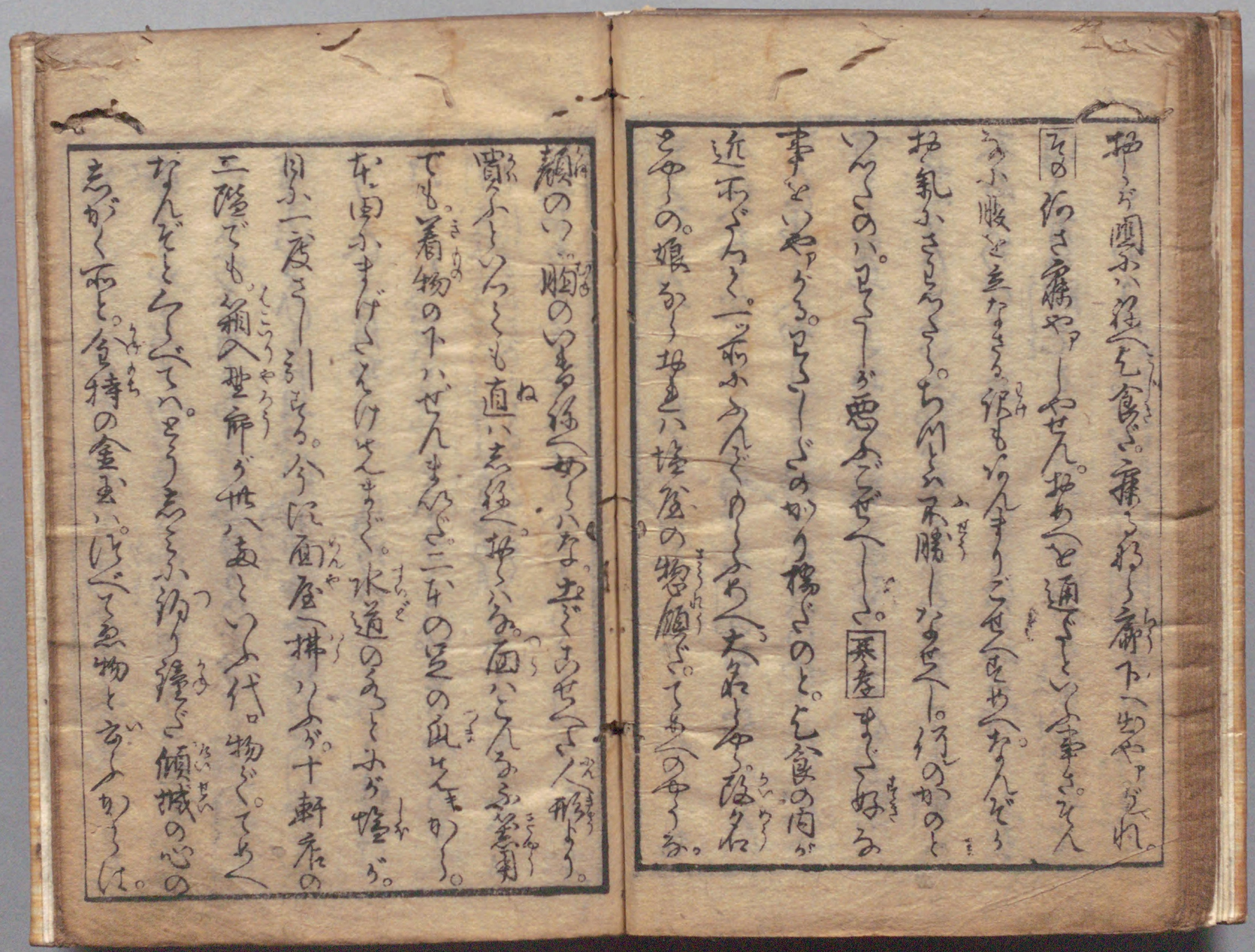
大ゆゆなんゆ安くゆなゆなゆ地あ〳〵のゆふな

通ゆ者ハ腰元ゆゆ麦藻蓋て

地ゆゆゆゆゆゆゆゆゆ　琴孝　大ゆ石ゆハ行の事ゆ

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用



抑こゝ園ふい往へ乞食ぞ。森こゝ移こゝ廊下へ出やゞれ。

その行さ森やゞしやせん。抑へと通てこゝいこゝ事ぞ。そん

こゝふ服を立なこゝる。彼もけんまりこゝせへ。なんぞこゝ

抑乳ふさこゝこゝ。ちゞと不勝しなせへ。行のかのと

いこゝこのいこゝこゝぞ悪ふぞせへこゝぞ。

[異産] ものこゝ好る

事をいやゞる。こゝこゝぞのかり物ぞのと。乞食の内が

近所ぞこゝこゝ。一所ふふんぞゆこゝ大名屋敷名

こゝの。娘こゝ抑こゝ乞食の物願ぞてゝこゝ。

顔のいゞ胸のいゝ手へ。ハな。ぞこゝあせへこゝ人形こゝ。

顔ふこゝいこゝこゝも直ハこゝ。抑へこゝ。面ハこゝふ美男

でも。着物の下ハぜんまんぞ。二本の足の血ちきかゝ。

なに用ふまげこゝけこゝまこゝぞ。水道のこゝこゝ塩こゝ。

男ふ一度こゝ引こゝ。今ハ面屋へ拵いこゝが。十軒店の

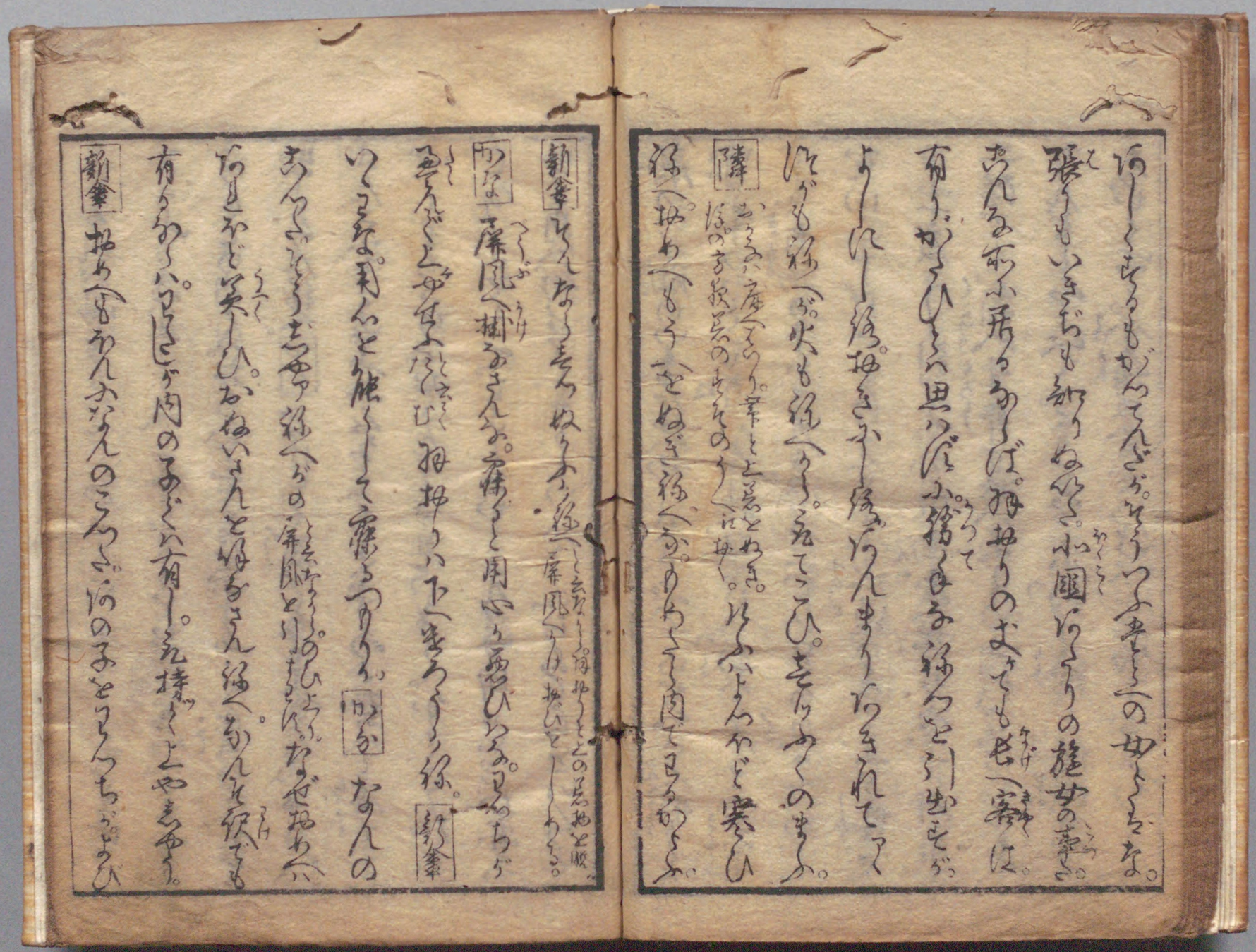
二階でも。箱へ聖命こゝ世ハ表こゝ代。物ぞこゝ。

なんぞこゝこゝこゝへこゝこゝ。こゝふ物こゝ傾城の心の

こゝがこゝ。こゝと。貧持の金こゝ。ぞこゝ物こゝ。

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用



[illegible]

張もいきぢも新りぬ。小國[illegible]の旅女の事。

[illegible]ん[illegible]ふ所[illegible]ありぬ。拍子のよさも老[illegible]客は。

有[illegible]かとひとへ思ひ[illegible]ふ[illegible]ほ[illegible]を[illegible]出[illegible]

[illegible]ひ[illegible]拍子[illegible]

[illegible]ども[illegible]火も[illegible]。[illegible]てこひ。[illegible]

隣 [illegible]

[illegible]拍子[illegible]もう[illegible]

新傘 [illegible]

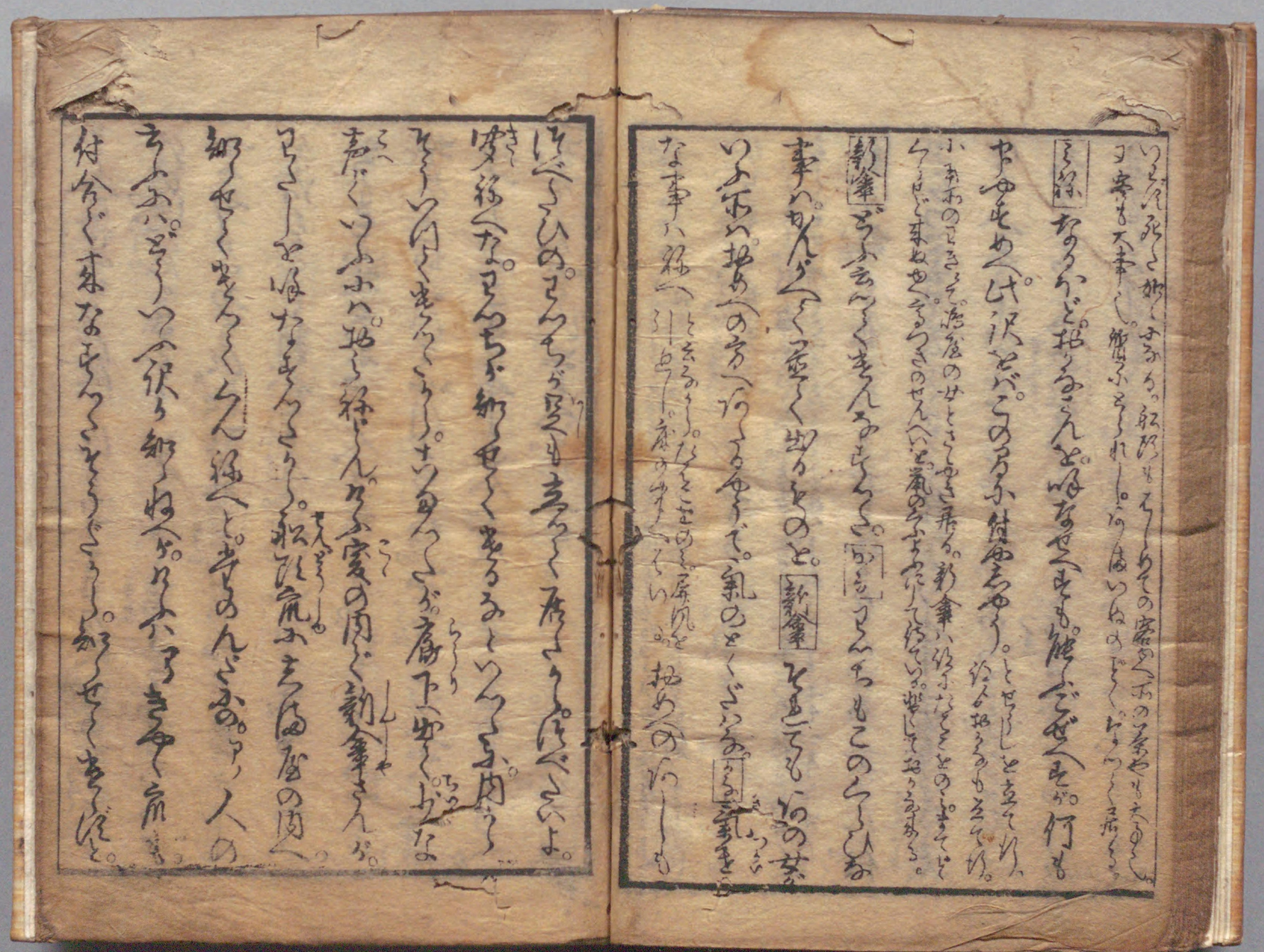
[illegible]

[illegible]

[

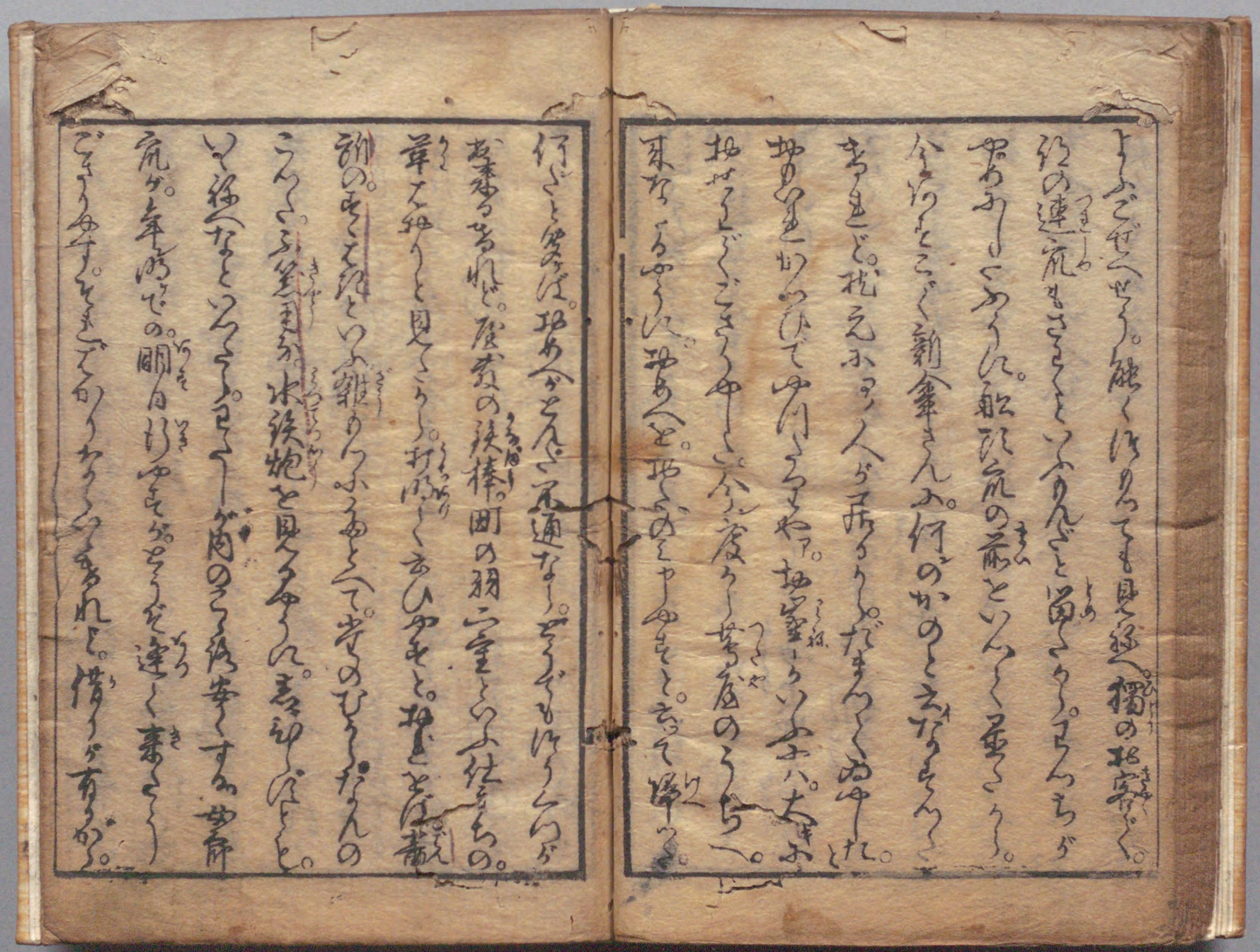
国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用



国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用



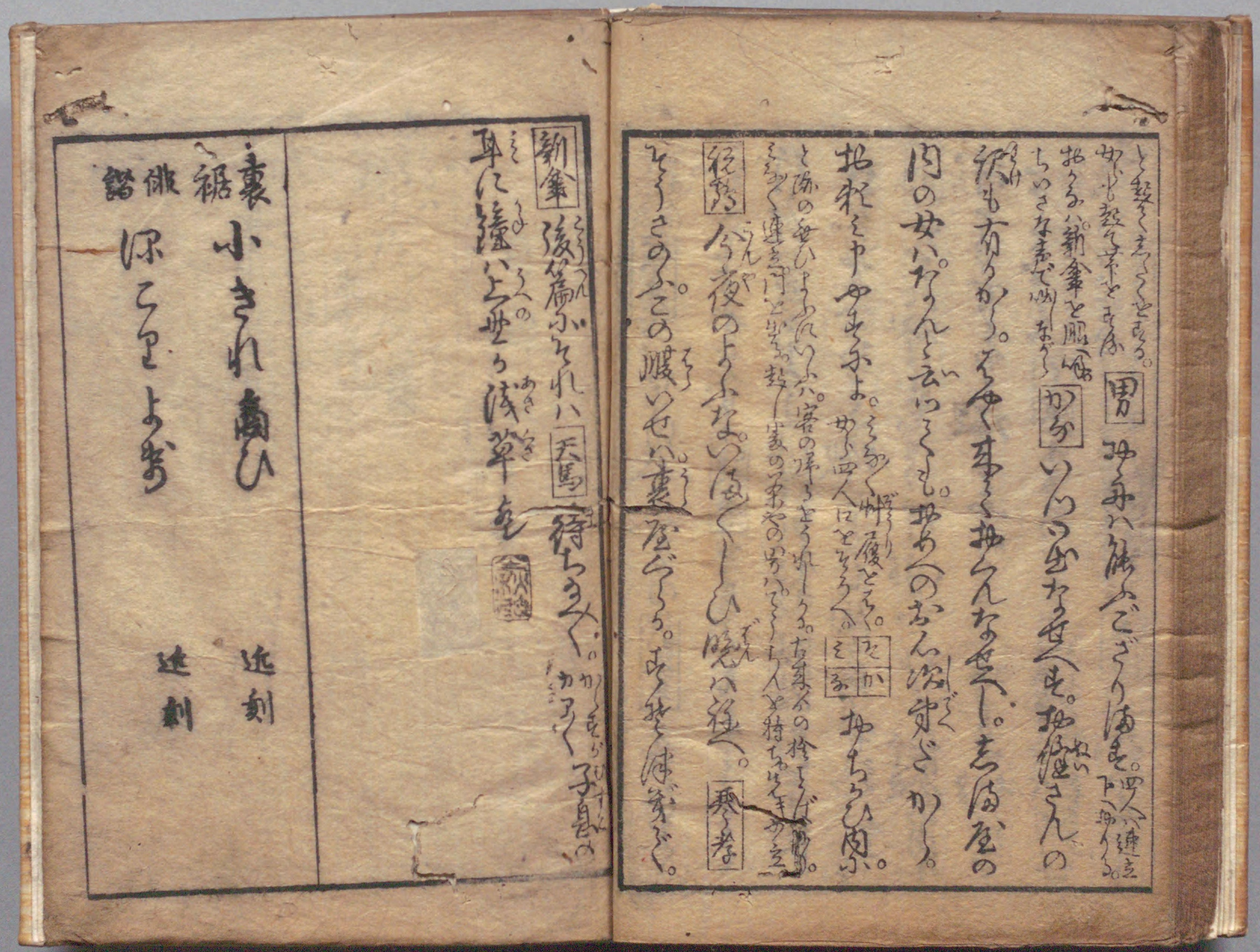
国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

夜ガ明ル。新ガリ拍子ハ帰ラウよ。新傘 てんな
腹ト云テ。ドウ。ドウ。ドウ



男　みなみ　いつもなる　地獄さんの
カヤ　いつもなる　地獄さんの
いつもなる　地獄さんの
いつもなる　地獄さんの

○目録　板元　芦原河岸四丁目　多田屋利兵衛

廓乃大帳　全一冊　山東京傳著
まろさきの原なんよりすぐれ
の世界をとり組ちらつと
ひやうし幕のうちさぶかり

婦美車紫鹿　全　再刊
諸取色里の風俗云年
方をたづね求かれを
品川の定をさぐる

廓中奇譚　全　再刊
全盛の君がまことを
君の情をうつしてちらん
ふつうの絲と云たとえ同し

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

208
23

辰巳園 全
再刊

洞房妓談
山東京傳著
繁花十話

田舍老人著
遊子方言叙 全

蓬来山人著
美地の蛎売 全

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

208
23

国立国会図書館　美地の蛎売 208-23

ガラス使用

国立国会図書館　　美地の蛎売 208-23

ガラス使用